

# 要望書

2007年 月 日

立教大学総長 大橋 英五殿

立教学院校宅11号館・12号館（旧宣教師館）の保存のお願い

立教大学の正門を入り「鈴懸の径」を西に進むと左側に、旧宣教師館と呼ばれた校宅11号館・12号館があります。1927年に建てられた、アーリー・アメリカンスタイルの魅力的な下見板張りの二連戸の白い洋館で、聖路加病院の最終設計も担当したアメリカの建築家J. V. W. パーガミニの設計です。

この歴史的価値のある建物が、校舎を増やすため今年中に解体されることを知りました。

立教構内には、優れた歴史的建物が数多く残されてきて、その建物群の魅力が立教大学の特長となり、豊かな雰囲気周囲にあたえてくれている数少ない大学です。

立教大学のなかに唯一現存しているこの旧宣教師館は、歴史上からも建築的にも重要でありかけがえのないものです。この美しい建物が保存されることを、切望いたします。

	お名前	おところ
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

立教学院校宅11号館・12号館（旧宣教師館）を愛する会

お知り合いに署名をお願いいたします。8月31日までに下記住所にお送りください。FAXでも結構です。

〒171-0043 豊島区要町1-27-8（竹内方）

FAX 03-3973-5219 竹内里美

FAX 03-3418-3297 平林昭代

※住所は省略せずにご記入ください。個人情報につきましては、署名以外の目的では使用しません。

※聖歌隊の練習場として使用されていた校宅5号館も解体が決定しています。二棟の見学会を計画しています。日程は未定です。案内を希望する方はFAX番号を書き添えて下さい。